



かわごえ



民児協だより

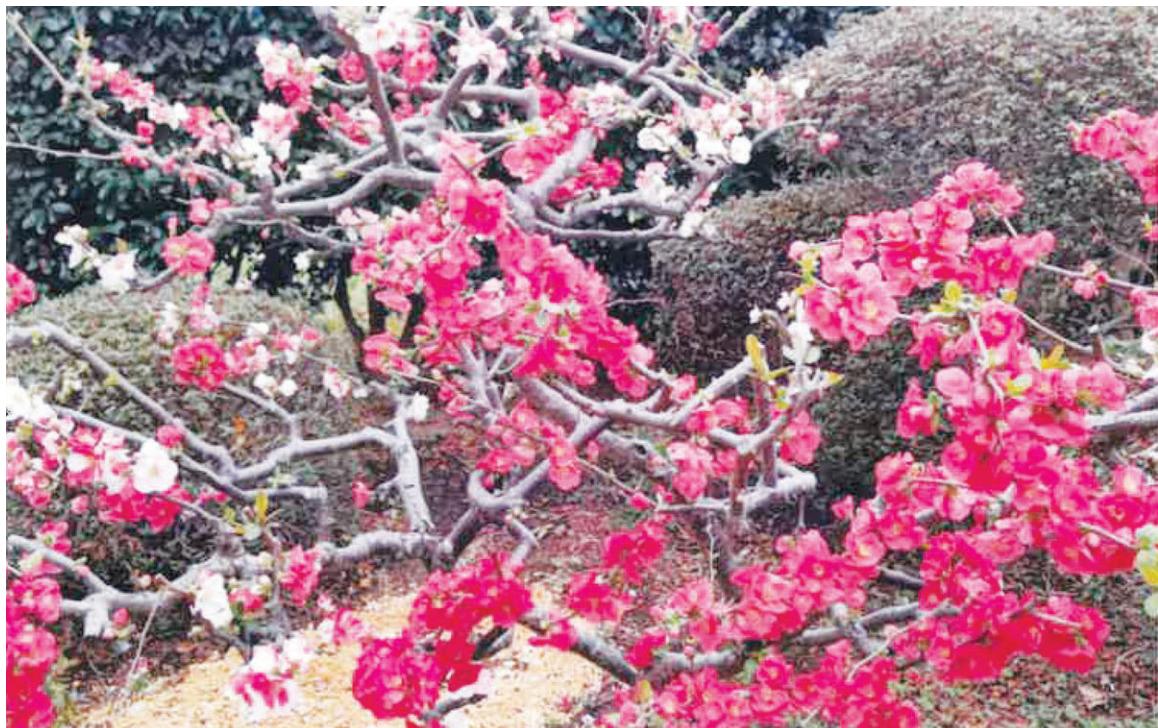
[第94号]

令和8年1月発行
(2026年)

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会／川越市小仙波町2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666

色鮮やか木瓜（ぼけ）の花

撮影者 金井 幸子



川越市長 森田 初恵

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十二月一日には、三年に一度行われる民生委員・児童委員の一斉改選がございました。「なり手不足」が全国的な問題となつていて、民生委員・児童委員をご推薦いただいた自治会長様を始め、関係者の皆様には、心より感謝申しあげます。

さて、民生委員・児童委員の皆様におかれましては、新しいメンバーでの活動がスタートしていることと存じます。現代社会は、少子高齢化、核家族化の進行に加え、生活様式や価値観が目まぐるしく変化し、地域課題は一層複雑化・多様化しております。活動する中で、従来の制度の枠組みで捉えきれないような困

難なケースに直面することがあるかもしれません。そのような際には、民生委員・児童委員の皆様の協力関係を基に、皆様がこれまで培ってきた経験や新しい考え方を活かしつつ、地域福祉の向上のためお力を貸していただければ幸いです。

市といったとしても、皆様と連携し、地域全体で支え合う仕組みづくりを推進してまいりますので、引き続き、住民一人ひとりが安心して暮らせる環境づくりにご理解・ご協力を頂きまますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様方にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきま

新年のご挨拶

川越市社会福祉協議会



理事長

新年あけましておめでとうございます。 民生委員・児童委員及び主任児童委員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。 昨年六月に、理事長に就任いたしました後藤徳子です。 昨年十二月一日には、三年に一度の一斉改選があり、皆様におかれましては新たなメンバー、組織でご活躍のことと存します。 近年では、複雑な福祉課題が山積し、地域の担い手不足の深刻な問題も重なっておりますが、身近な相談相手として、ますます重要な役割を担つております、その御尽力には心から感謝申し上げます。 社会福祉協議会といしましては、皆様の負担軽減を図りながら、だれもが楽しく安心して暮らせ、地域福祉の活動に参加できるよう、環境を整えてまいりたいと考えております。

結びに、本年が素晴らしい年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

でしたので、電子メールは利用可能だかうと思ひ、皆さんに詰りましたら八割の方がLINEを使つてゐることが分かり、LINEを中心にお、電子メール(e-mail)とショートメール(SMS)で補完すべくおつにしました。

LINEの情報を担当者がe-mailとSMSに変換する必要はあります、十分程度で皆さんと連絡することができぬよべになつました。皆さんの手元には必ず記録が残つていゐることになります。

従来の「電話連絡網」では時間がかかること、口頭のため正確に伝わるか疑問があつたため、電子化を試験的に導入しました。

当地図は四十名程度で構成されていますが、二年半前から、「電子連絡網」を利⽤しています。

また電子連絡網を利用する
と、一方的な連絡だけでは
なく、質問したり、意見を
述べたりする事もできるよ
うになります。

川鶴地区では、民生委員・児童委員が、七五歳以上の一
人の一人暮らしの方の誕生日に、ささやかなプレゼン
トをお届けしています。

お届けする側からは、「お誕生日おめでとうございます！」と声を掛けると、七十代後半の男性が「コツ」と幼い子どものような笑顔訪問した者も至福の喜びをいただけます。」「お誕生日の訪問では皆さんとじつ



始めてから二年が経ちましたが、嬉しい声が寄せられています。『覚えていてくれたの。ワアー嬉しい！』「もお、誕生日が嬉しい歳でもないのよねえ。」「忘れていたわ！」と笑う方など喜び方も様々です。

電子化について、一気に
変更する事は難しいと思い
ますが、対応可能な部分に
ついては電子化する等の段
階的な変更で良いと思いま
す。また、段階的な変更に
より、問題点等を改善して
いく事もやりやすいと思い
ます。是非、事務作業の電
子化を実現し、少しでも負
担を軽減できるよう願いた
いと思い報告させていただ
きました。

お届けする側からは「お誕生日おめでとうございます！」と声を掛けると、七十年代後半の男性がニコッ！と幼い子どものような笑顔訪問した者も至福の喜びをいただけます。」「お誕生日の訪問では皆さんと同じくり話せたような気がします。生い立ちを交えた戦中戦後の大変な時の話しことかこちらも何軒も廻らなくていいのでゆつくり聞かせていただけました。」「お届けに伺うとお留守でしたので、お手紙を添えてポストインしました。すると数日後、PCで作成したお札の持ちしています。

令和6年度の「活動記録」報告書より

令和6年度の民生委員・児童委員の「活動記録」集計を報告します。

令和6年度の活動件数は、令和4年12月1日就任した民生委員・児童委員と主任児童委員の活動が熟達し、活発化した状況を推察することができます。

相談・支援件数は、相談・支援を必要とする人からの受動的な活動であり、年度により変動します。ただし、6年度の(分野別)「子どもにすること」及び「その他」の件数増加はコロナの影響から脱却し、各委員の活動が活発化したことの影響と思われます。

その他の活動件数では、「行事・事業・会議への参加・協力」と「地域福祉活動・自主活動」を中心に各項目が増加しています。各種団体(公的、自治会、社協等)の催しの増加を考慮しても、民生委員・児童委員と主任児童委員の主体的かつ能動的な活動の活発化が、大きく影響しているものと思われます。

現在、民生委員・児童委員の成り手不足が大きな問題となっています。個人の負担に頼った制度の抜本的な見直しを、早急に行う必要があるのではないでしょうか。

尚、令和3年度と令和6年度のその他の活動件数「調査・実態把握」と訪問回数「その他」の増加は3年毎の居住者カード更新によるものです。

◇川越市「活動記録」 令和3年度～令和6年度 推移表

活動分類		合計件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談・支援件数	在宅福祉	595	653	606	528
	介護保険	357	392	428	396
	健康・保険医療	1,128	786	745	762
	子育て・母子保健	62	54	74	86
	子どもの地域生活	160	228	593	627
	子どもの教育・学校生活	151	131	174	172
	生活費	171	193	136	141
	年金・保険	29	42	34	19
	仕事	53	41	23	35
	家族関係	300	290	215	271
	住居	115	174	167	137
	生活環境	356	321	343	367
	日常的な支援	2,441	2,387	2,140	2,209
	その他	2,456	2,729	2,549	2,668
	計	8,374	8,421	8,227	8,418
(分野別)	高齢者にすること	5,845	5,526	4,939	5,010
	障害者にすること	491	535	611	419
	子どもにすること	696	797	1,126	1,192
	その他	1,342	1,563	1,551	1,797
	計	8,374	8,421	8,227	8,418
その他の活動件数	調査・実態把握	112,300	7,224	12,919	124,875
	行事・事業・会議への参加・協力	7,384	9,061	12,350	13,002
	地域福祉活動・自主活動	21,546	22,229	24,923	28,334
	民児協運営・研修	16,588	18,205	16,679	17,772
	証明事務	345	325	472	664
	要保護児童の発見の通告・仲介	23	26	14	49
	計	158,186	57,070	67,357	184,696
訪問回数	訪問・連絡活動	65,549	64,483	69,321	70,720
	その他	160,513	53,109	52,537	149,055
	計	226,062	117,592	121,858	219,775
連絡調整回数	委員相互	41,063	45,767	43,757	44,817
	その他の関係機関	22,410	21,414	20,850	24,072
	計	63,473	67,181	64,607	68,889
活動日数		73,157	72,114	74,208	78,783
一人あたりの活動日数		149.0	146.6	151.1	159.8
各年度初の民生委員・児童委員、主任児童委員数		491名	492名	491名	493名

生きがい訪問

第八地区

川股秀之さん



第八地区的活動紹介については、令和六年一月発行の民児協だより(第九〇号)において羽石明さんが紹介しておりますので、そちらに譲らせていただきます。

そこで、ここでは私として、岸町三丁目自治会総務部長・副会長・会長・相談役、また子ども会育成会とのかわりについて振り返ってみたいと思います。

まず、各自治会役員と自治会との関係ですが、私たちの地区は川越市他の地区と同じように、いわゆる第二の故郷になるのです。若い世代の家庭がその多くを占め、安全・安心のまちづくりを目指して活動しています。



いに繋がるのではないかと、三つの行動を起こしました。

一つ目は、孫の入学を機に登校の際、危険な交差点での見守りを始め、自分の健康維持、小学校の先生、育成会役員との交流などを大切にしているうちに九年間が過ぎました。朝児童から

三つ目は、個人的な趣味としてゴルフを楽しみ四つの会に入り、ゴルフコンペが高じてゴルフ練習場でア

ラバイトを始め、今年で九年目を迎えました。朝五時からの仕事で大変ですが、色々な分野の人達との出会いも生きがいにつながっています。

大東地区

橋本武二さん



また、子どもたちの楽しい思い出づくりをするために、子ども会育成会の御両親にも積極的に参加していく。岸町三丁目自治会総務部長・副会長・会長・相談役、また子ども会育成会とのかわりについて振り返ってみたいと思います。「親の背中を見て子は育つ」を実践しているつもりです。「隣は何をする人ぞ」という地域にだけはならぬいようにしています。

私はこの南大塚の地に生まれ育ち、今地域の仲間とともに育ち、今地域の仲間と一緒に日々楽しんでいます。

二つ目は、地域の老人会に入会し、週二回のグランドゴルフ、カラオケ、卓球バレーや老人会主催のバス旅行や親睦会に参加し、健康維持と共に仲間と親睦を図り日々の生活を楽しんでいます。地域の活動の中で、人のふれあいや楽しそうな笑顔での会話を大切にすることでも心も癒され、穏やかな日を送っています。

同時に自治会役員として説かれ、自治会活動の中で地域を知り仲間が増え、「支え合い」の大切さを身をもつて実感しました。十年間の自治会役員退任後、地域との関わり合いが生きています。



地区民児協だより

第十一地区

鈴木 弘

令和七年ふれあい新緑の会

第十一地区は、国道十六号と県道川越・所沢線を中心とした新宿町二丁目から六丁目まである広い住宅地域です。

区域内には小中学校、病院やスーパーなど生活に必要な施設がそろっています。

第十一地区は各丁目に二～四人の民生委員が十九人活動しています。

今回は第十一地区で四月に開催された「ふれあい新緑の会」の活動と月ごとの活動を報告します。



第十一地区はひとりで暮らしているお年寄りがたいへん多く、民生委員や地域の住人がいつも気にかけています。高齢化が進むなか近隣の助け合いが必ず必要となるでしょう。

民生委員・児童委員二十名主任児童委員二名の二十七名で構成されています。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

また近年は、駅周辺の東南アジア系住民の増加に伴い生活習慣の違いから新たな問題に直面しています。

ひとり暮らし高齢者の会食会は人気のある事業であります。音楽や軽体操を楽しんだり生活に役立つ勉強会を開いています。現在は弁当の持ち帰りですが、コロナ以前のようにテープルを囲んで昼食をご一緒にできるようになります。

参加者は毎回七十～八十名

霞ヶ関北地区
鶴見由利子

くらいですが今後も増えることが予想されます。
子供たちの見守り活動の一環として地域バトロールを行っています。学校関係同されますが、私たちの活動地域は東上線霞ヶ関駅の南側に位置します。

霞ヶ関北地区です。

たびたび霞ヶ関地区と混同されますが、私たちの活動地域は東上線霞ヶ関駅の南側に位置します。

民生委員・児童委員二十名主任児童委員二名の二十七名で構成されています。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

また年に二度の研修旅行は知識を広めるだけでなく活動に取り組んでいます。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

また年に二度の研修旅行は知識を広めるだけでなく活動に取り組んでいます。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

また年に二度の研修旅行は知識を広めるだけでなく活動に取り組んでいます。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

また年に二度の研修旅行は知識を広めるだけでなく活動に取り組んでいます。

圧倒的に女性が多いからでしょうか、定例会は和やかな雰囲気のなか毎月の連絡事項に加えその時々の問題を話し合います。

当地区は高齢化率が市内で一、二を争うほど高く、そのためひとり暮らしの世帯や空家が増加の一途で委員間での情報共有は欠かせません。

六月三十日
「全員研修に参加して」
講演「自主防災について」
講師 田中 緑 様

生活の場を「安全」にす

ることが、防災対策の基本です。という所から防災の知識を学びました。まず、家具の転倒防止法、家の中の地震対策、水・食料の備蓄法、非常時の連絡方法、災害用伝言ダイヤル一七一の使い方等々普段の生活では気付きにくい事も多かつた様に思いました。

防災は、ふだんの絆にもなる。ということをふまえて地元のイベントで地域の人たちと交流しよう

・地域の人たちと積極的に接する
・高齢者、障害者への支援に協力しよう

等のこと学びました。

まずは、自分の安全、家族の安全を第一に地域の人々の安全にも気を配り日々のコミュニティ活動を大切にしていきたいと思いました。

これまでの研修活動を通じて、自分たちの活動が地域社会に貢献できることを実感することができました。

今後も、地域社会の安全

と安心を守るために活動を継続してまいります。

田中 緑 様

講師 田中 緑 様

生活の場を「安全」にす

ることが、防災対策の基本

です。という所から防災の知識を学びました。まず、家具の転倒防止法、家の中の地震対策、水・食料の備蓄法、非常時の連絡方法、災害用伝言ダイヤル一七一の使い方等々普段の生活では気付きにくい事も多かつた様に思いました。

防災は、ふだんの絆にもなる。ということをふまえて地元のイベントで地域の人たちと交流しよう

・地域の人たちと積極的に接する
・高齢者、障害者への支援に協力しよう

等のこと学びました。

まずは、自分の安全、家族の安全を第一に地域の人々の安全にも気を配り日々のコミュニティ活動を大切にしていきたいと思いました。

田中 緑 様

生活の場を「安全」にす

ることが、防災対策の基本



等のこと学びました。

三浦やえ子
広報部会

正副会長研修会 の報告

第八地区民児協副会長

花岡 実



就労支援施設「信州ふれ
あいの森」へ視察に行きました。

この施設は障害を抱えている人達の「経済面」「精神面」「身体面」の自立と一般就労を目指す「ステップアップ」の場として支援しています。

農作業を通じて計画的育成指導を実施、個々の目標に合わせた幅広いサポートをし「働きたい」等様々な思いを大切にして生活自立を目指せる環境にしておりました。

令和七年度 受賞者紹介

■全国社会福祉大会 ○厚生労働大臣表彰

霞ヶ関北地区 中島真利子

■全国民生委員児童委員大会 ○連合会会长表彰

(永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰)
第五地区 市村 博子
第九地区 田中 敏枝
(民生委員・児童委員
功労者表彰)

○埼玉県社会福祉大会会長表彰

霞ヶ関北地区 中島真利子

○埼玉県知事功労章

霞ヶ関北地区 中島真利子

○埼玉県民生委員・児童委員大会 ○三十年功労者感謝

霞ヶ関北地区 中島真利子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続単位民生委員・ 児童委員協議会会长表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○埼玉県知事表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続民生委員・児童 委員表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○三十年功労者感謝

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続民生委員・児童 委員表彰

霞ヶ関地区 田中 道子

名細地区 小沼 由美
川鶴地区 宮澤 秀子
川鶴地区 刀根美智子

■埼玉県民生委員・児童委員大会

高階地区 宮澤 宏子
大東地区 川邊 富子
霞ヶ関北地区 原 美佳
霞ヶ関北地区 仲 愛子

○埼玉県社会福祉大会 ○三十年功労者感謝

高階地区 吉成千代子
高階地区 霞ヶ関北地区 山田 地区 藤崎 昇

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

高階地区 霞ヶ関北地区 本橋 元子
高階地区 平本 和子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続単位民生委員・ 児童委員協議会会长表彰

高階地区 市川 操子
高階地区 高橋 敦子

○埼玉県社会福祉大会 ○三十年功労者感謝

高階地区 矢島 祥子
高階地区 鶴見由利子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

高階地区 星野 幸子
高階地区 鶴見由利子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続民生委員・ 児童委員協議会会长表彰

高階地区 田中 幸子
高階地区 谷口千恵子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 敏枝

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続民生委員・ 児童委員協議会会长表彰

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

○埼玉県社会福祉大会 ○三十年功労者感謝

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

○埼玉県社会福祉大会 ○永年勤続民生委員・ 児童委員協議会会长表彰

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

○埼玉県社会福祉大会 ○三十年功労者感謝

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

○埼玉県社会福祉大会 ○優良民生委員・児童委員 協議会表彰

高階地区 金子 真弓
高階地区 田中 幸子

時の鐘

新年明けましておめでとうございます。

令和四年十二月の活動スタートから早や三年が経ちました。「担当者全員が、未経験者」という船出でしたが、様々な工夫を重ねながら最終号である本紙第十四号に辿り着きました。

編集作業をしながら、各地区での行事に取り組む意欲、その土地で活躍される方々の逞しさを強く感じ入り、毎回元気を頂きました。

これまで記事を寄せてくださった皆様に、改めて心より感謝を申し上げます。次号から、民児協だよりは新体制による編集発行となります。新風に期待しながらトントンを託します。

今号は、山口秀二・花岡実・黒田実・及川弥生・鈴木弘・高橋邦雄・木村弥生・金井幸子・越部英夫・三浦やえ子・綱島一の十一名が編集を担当しました。

